



1 坂出駅前の拠点施設を考えるワークショップとは？

坂出市では、JR坂出駅を「まちのリビング」と呼べる居場所とするために図書館機能を核とした拠点施設整備を計画しています。

そこで、どのような拠点施設をめざすべきか市民参加型のワークショップを全3回開催し、幸せに暮らせるまちの将来について市民の皆様と一緒に考えていきます。



第1回

令和5年 7月23日 日 9:30~12:00

まちづくりの視点『駅前をまちのリビングにしよう』

■駅前空間の再認識 ■「まちのリビング」に必要な空間・もの・コトの検討



第2回

令和5年 7月30日 日 9:30~12:00

施設の視点『駅前の図書館にはどんな機能が必要？』

■駅前図書館への導入機能や施設についてのアイデア出し

第3回

令和5年 8月12日 土 9:30~12:00

運営の視点『みんなの“ココチよさ”をかなえよう』

■必要となる機能や施設から、人の関わり方についての検討

第2回ワークショップを開催しました

令和5年7月30日(日)、坂出市役所の大会議室にて第2回のワークショップを行いました。今回は33名の方にご参加いただき、駅前拠点施設の機能に対してご意見をいただきました。

今回のワークショップでは、前回に引き続き花井裕一郎氏のファシリテーションのもと、高校生から70代までの参加者が6班に分かれて、2つのグループワークが行われました。

まず、前回の宿題であった図書館の利用状況とリビングのイメージについての聞き取り調査の結果が各グループで取りまとめられ、性別・年代ごとの図書館の利用有無とその理由、またリビングに求める理想像が語られました。

次に、坂出駅前の拠点施設に導入が検討される5つの機能(図書館、子育て支援、市民活動拠点、来訪者の拠点など)に必要な空間・もの・コトについて各班でアイデアを出し合いました。



ワークショップの内容

1. 前回の宿題内容の発表(図書館の利用とリビングのイメージ)
2. まちのリビングに必要なものを語ろう
3. 駅前図書館に求められる機能を考える
4. 各班の発表



ワークショップの様子



2回目のワークショップになり、参加者の方の表情が柔らかくなっていたのが印象的でした。



グループワークの途中では別の班との意見交換やアイデアを参考にする時間もありました。



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加 ・絵本や漫画を借りる ・読書 ・レポートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの付き添い ・自習 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りる ・読書 ・孫の付き添い ・イベント参加
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの普及 ・時間が無い ・アクセスが悪い ・利用する習慣がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・時間が無い ・コロナによる自粛 ・インターネットの普及 ・アクセスが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用方法が不明 ・必要性を感じない ・インターネットの普及 ・アクセスが悪い

宿題② リビングのイメージ

- ・お茶を飲むところ
- ・テレビを見るところ
- ・ゲームをする場所
- ・おやつやご飯を食べる場所



1班におけるグループワークの様子

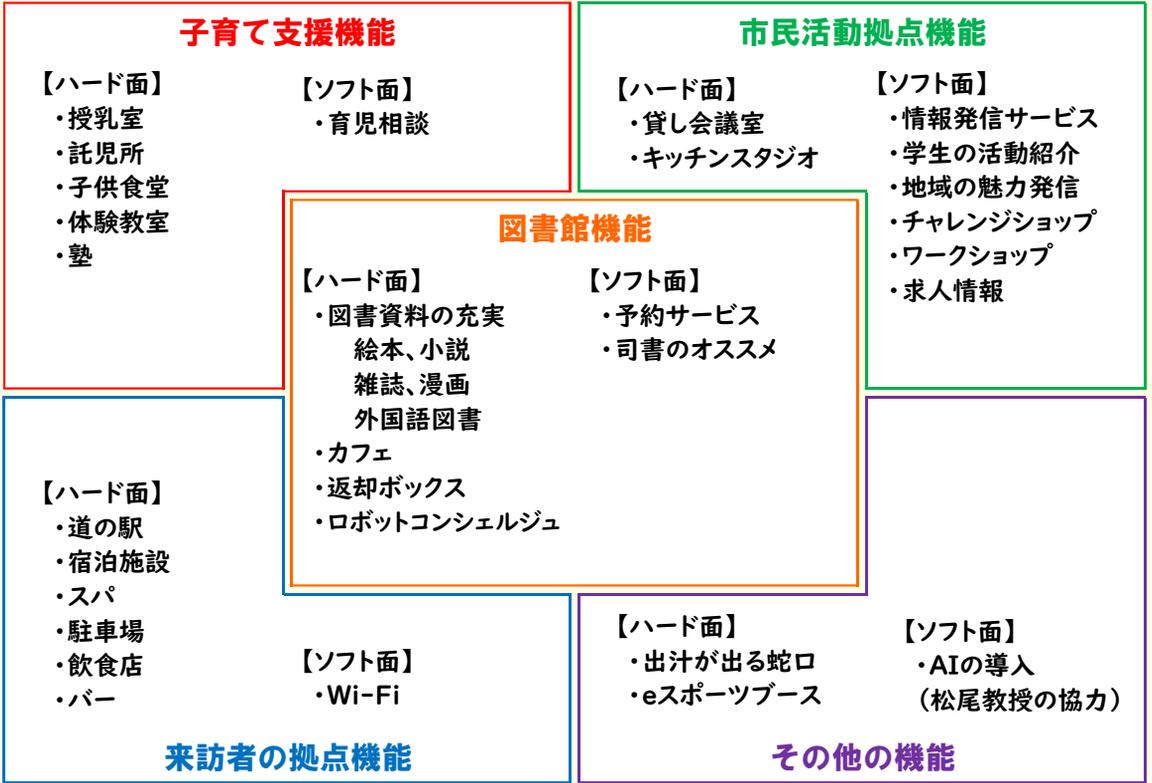


各班の意見や検討結果を紹介します。



坂出駅前の拠点施設に求められる機能

1班が考える坂出駅前の拠点施設



1班における情報交換と発表の様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自習 ・読書 ・本を借りる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの付き添い ・待ち合わせ ・イベント参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りる ・読書 ・新聞
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じない ・アクセスが悪い(遠い) ・オシャレな建物でない ・本が古い 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・閉館時間が早い ・アクセスが悪い ・建物が古い ・ワクワクしない 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・必要性を感じない ・インターネットの普及 ・アクセスが悪い ・建物が古い

宿題② リビングのイメージ

- ・リラックスできる場所
- ・友人や家族と集まる場所
- ・目的がなくても居られる
- ・会話や食事を楽しむ場所
- ・昼夜問わず居られる
- ・疲れをとることができる

2班におけるグループワークの様子





3

ワークショップでの各班の意見 2班

各班の意見や検討結果を紹介します。



坂出駅前の拠点施設に求められる機能

2班が考える坂出駅前の拠点施設

子育て支援機能

【ハード面】

- ・託児所
- ・遊び場
- ・支援センター

【ソフト面】

- ・育児・福祉相談
- ・知育

市民活動拠点機能

【ソフト面】

- ・将棋や囲碁の対戦

【ハード面】

- ・ジム
- ・カルチャースクール
- ・レンタルスペース
- ・eスポーツブース
- ・音楽スタジオ
- ・先生OBが教えてくれるスペース

図書館機能

【ハード面】

- ・図書資料の充実
- ・電子書籍
- ・セルフ貸出機
- ・発声可能スペース
- ・イベントスペース
- ・改札内に一部機能の導入

【ソフト面】

- ・AIの導入
- ・街中での返却
- ・郵便ポストでの返却
- ・書籍取寄の簡易化（無人貸出システム、借りる本を置くだけで読み取る機能）

【ハード面】

- ・道の駅
- ・うどん屋
- ・サテライトオフィス
- ・打合せスペース
- ・産直出張店
- ・サイクリスト拠点

【ソフト面】

- ・うどん作り体験
- ・パンク修理

【ソフト面】

- ・24時間営業
- ・駅との連携

【ハード面】

- ・商業施設
- ・食堂
- ・高校生レストラン
- ・チャレンジショップ

来訪者の拠点機能

その他の機能



2班における情報交換と発表の様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	・本が好き	・子どもの付き添い ・読書 ・本を借りる ・手に入らない本がある	・本を借りる ・読書 ・新聞
利用しない理由	・電子書籍を利用する ・アクセスが悪い(遠い) ・利用しづらい雰囲気 ・学校の図書館で十分	・電子書籍を利用する ・閉館時間が早い ・インターネットの普及 ・必要性を感じない	・アクセスが悪い

宿題② リビングのイメージ

- ・家族で集まる場所
- ・宿題をする場所
- ・テレビやゲームをする
- ・食事やお酒を楽しむ場所
- ・集まっても各々がいろんなことができる
- ・あたたかい場所
- ・いつも戻る場所



3班におけるグループワークの様子





3

ワークショップでの各班の意見

3班

各班の意見や検討結果を紹介します。



坂出駅前の拠点施設に求められる機能

3班が考える坂出駅前の拠点施設

子育て支援機能

【ハード面】

- ・こども園
- ・遊具(すべり台)
- ・水遊び場
- ・子どもが食事できるスペース

【ソフト面】

- ・託児(1~2時間)

市民活動拠点機能

【ソフト面】

- ・情報発信サービス
- ・学校との連携交流

【ハード面】

- ・チャレンジショップ
- ・音楽スタジオ
- ・ミニホール
- ・ラジオ局
- ・大学の一部
- ・チャレンジ教室
- ・eスポーツブース
- ・ガラス張りの市長室

図書館機能

【ハード面】

- ・図書資料の充実
- ・自習室
- ・アニメ鑑賞コーナー
- ・屋外読書スペース
- ・Wi-Fi
- ・USB電源
- ・裸足で過ごせるスペース

【ソフト面】

- ・本の手に取りやすさ
- ・テレワーク
- ・外国語図書
- ・朗読
- ・オンラインによるサービス

【ハード面】

- ・観光案内所
- ・フードコート
- ・温泉施設
- ・カフェ
- ・ホテル
- ・駐車場
- ・駅から直結させる
- ・塩づくり体験教室

【ソフト面】

- ・自動翻訳機能
- ・郷土誌の閲覧

【ハード面】

- ・公園施設
- ・AIの導入(松尾教授の協力)
- ・ピアノ
- ・館内に流れる川
- ・クラフトビールやワイン工房
- ・太陽光発電

来訪者の拠点機能

【ソフト面】

- ・24時間営業
- ・バリアフリー化

その他の機能



3班における情報交換と発表の様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強 ・読書 ・本を借りる ・静かな場所だから ・庭で遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの付き添い ・読書 ・本を借りる ・美術館利用に併せて 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りる ・読書 ・新聞
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しづらい雰囲気 (静かにしなければいけない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fiが繋がらない ・本は購入する ・電子書籍を利用する ・インターネットの普及 ・必要性を感じない ・子ども連れで行きにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが悪い ・時間がない

宿題② リビングのイメージ

- ・やすらぎの場所
- ・友人や家族と集まる場所
- ・座ってテレビを観る
- ・会話を楽しむ場所

4班におけるグループワークの様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

坂出駅前の拠点施設に求められる機能

4班が考える坂出駅前の拠点施設

子育て支援機能

【ハード面】

- ・水遊びスペース
- ・託児所
- ・子ども食堂
- ・学割のある飲食店
- ・絵本の読み聞かせスペース

【ソフト面】

- ・託児による買い物
- ・絵本読み聞かせ

市民活動拠点機能

【ソフト面】

- ・起業支援
- ・健康増進支援

【ハード面】

- ・運動できるスペース
- ・和室
- ・キッチンスペース
- ・多目的ホール
- ・音楽スタジオ
- ・ダンススタジオ
- ・biz機能
- ・市役所の一部機能

図書館機能

【ハード面】

- ・電子書籍
- ・セルフ貸出機
- ・フリーレンタルスペース
- ・地元紹介コーナー
- ・うどん博物館
- ・天体望遠鏡博物館
- ・学習室

【ソフト面】

- ・ネット書籍検索
- ・予約システム
- ・音楽(ジャズなど)
- ・Wi-Fi

【ハード面】

- ・宿泊施設
- ・産直
- ・駐車場
- ・バスターミナル
- ・駐車場
- ・飲食店

【ソフト面】

- ・地元特産物の販売
- ・芸術家支援

【ハード面】

- ・町の保健室
- ・心の相談室
- ・足湯
- ・サウナ
- ・活動の見えるガラス張りの部屋

来訪者の拠点機能

その他の機能



4班における情報交換と発表の様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強 ・読書 ・本を借りる ・家に物を増やしたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ会 ・調べもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を借りる ・読書 ・行事参加
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの普及 ・必要性を感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子が少ない ・アクセスが悪い ・子ども連れで行きにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・アクセスが悪い ・来館する習慣がない

宿題② リビングのイメージ

- ・会話（交流）ができる場所
- ・落ち着いて座れる場所
- ・飲食できる場所
- ・子どもが友達と自由に遊べる場所
- ・気軽に利用できる場所

5班におけるグループワークの様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

坂出駅前の拠点施設に求められる機能

5班が考える坂出駅前の拠点施設

子育て支援機能

【ハード面】

- ・キッズスペース
- ・託児所
- ・学童機能
- ・ゲームコーナー
- ・Wi-Fi
- ・工作ルーム

【ソフト面】

- ・子どもが寝転がれる
- ・絵本読み聞かせ

市民活動拠点機能

【ソフト面】

- ・資格取得講習会
- ・映画上映イベント

【ハード面】

- ・ギャラリー
- ・フィットネスジム
- ・ヨガ教室
- ・音楽スタジオ
- ・ダンススタジオ
- ・eスポーツブース
- ・低価格レンタル部屋

図書館機能

【ハード面】

- ・カフェ
- ・電子書籍
- ・コンビニ
- ・駄菓子屋
- ・屋外テラス
- ・ラウンジ
- ・パソコンを観ながら学習できる机

【ソフト面】

- ・漫画の充実
- ・会話のできる場所
- ・個室
- ・本の選びやすさ
- ・行きやすい場所

【ハード面】

- ・屋上キャンプ施設
- ・バーベキュー設備
- ・ホテル
- ・観光案内所
- ・大浴場
- ・うどん屋
- ・バー

【ソフト面】

- ・通訳翻訳機能
- ・瀬戸芸との連携

【ソフト面】

- ・24時間営業

【ハード面】

- ・駅と併設させる
- ・ゴミ集積所
- ・ケースワーカーとの相談所

来訪者の拠点機能

その他の機能



5班における情報交換と発表の様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

宿題① 図書館の利用状況

年代	～20代	30～50代	60代～
利用する目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自習 ・本を借りる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの付き添い ・読書 ・本を借りる ・イベント参加 ・涼みに行く 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩のついでに寄る
利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本を探すのが難しい ・インターネットの普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・読みたい本は他の人に借りられている ・アクセスが悪い ・インターネットの普及 ・必要性を感じない ・子ども連れで行きにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は購入する ・アクセスが悪い ・インターネットの普及 ・時間がない

宿題② リビングのイメージ

- ・会話ができる場所
- ・リラックスできる場所（照明、植物、ソファ、テーブル、テレビ、音楽）
- ・落ち着いても賑やかな場所
- ・景色が良い場所
- ・食事をとる場所
- ・気軽に利用できる場所

6班におけるグループワークの様子



各班の意見や検討結果を紹介します。

坂出駅前の拠点施設に求められる機能

6班が考える坂出駅前の拠点施設

子育て支援機能

【ハード面】

- ・キッズスペース
- ・託児所
- ・手作り教室
- ・子ども食堂
- ・習い事
- ・ヘアサロン
- ・靴を脱いで飲食できるスペース

【ソフト面】

- ・イベントの充実
- ・高校生が集まれる

市民活動拠点機能

【ソフト面】

- ・学生の活動・交流
- ・音楽の発表イベント

【ハード面】

- ・スポーツジム
- ・まちの保健室
- ・健康測定器具
- ・シェアキッチン
- ・公園機能
- ・ミニコンサートホール
- ・イベント会場
- ・待合場所

図書館機能

【ハード面】

- ・物作り工房
- ・コワーキングスペース
- ・ソファのある個室
- ・飲食コーナー
- ・Wi-Fi
- ・静音スペース
- ・AIの導入
- ・eスポーツブース

【ソフト面】

- ・図書資料の充実
漫画、雑誌、歴史
海外の方向けの本
アート系図書

【ハード面】

- ・観光コンシェルジュ
- ・お土産売り場
- ・歴史文化コーナー
- ・アート展示
- ・うどん博物館
- ・塩づくり体験

【ソフト面】

- ・JRとの連携
- ・瀬戸芸との連携

【ハード面】

- ・カフェ
- ・飲食店
- ・コンビニ
- ・音楽ショップ
- ・手軽な商業施設

【ソフト面】

- ・病院との連携

来訪者の拠点機能

その他の機能



6班における情報交換と発表の様子



第1回の宿題だった図書館の利用状況とリビングのイメージについての聞き取り調査では、**読書や本を借りる、自習**といった回答が**全世代に共通**しており、**30～60代では子どもの付き添いで来館**すると回答した人が多くありました。

一方で、静かな図書館では、**子どもを連れて利用しにくい**という意見もありました。また、利用しないと回答した人からは、図書館への**アクセスが困難**なこと、**電子書籍やインターネットの普及**により図書館利用が不要になったことが意見として挙がりました。

リビングのイメージや理想像としては、家族らと**会話や飲食**を楽しみ、**くつろぐ場**であることが挙げられました。

次に、駅前拠点施設に求められる機能としては、電子書籍も含めた**図書の充実**や施設の予約、書籍の貸出のオンライン化・簡素化をすることで**利便性向上**を図ることに加え、**カフェやBGM**などにより、**居心地の良い空間を演出**する提案がありました。

また、**託児機能、キッズスペース**、音楽やダンスなどの**スタジオやキッチン**、**健康増進**の活動を推進する施設、**坂出市の魅力を発信**する施設やサービス、**宿泊施設**、さらに、リースペースやコワーキングスペースなどを設け多様な利用方法を実現させるアイデアが各グループから挙がりました。



お子様の一時預かり



今回もボランティアグループ「夢・ゆめクラブ」さんのご協力により、ワークショップに参加する方のお子様の一時預かりを実施しました。今回は10名のお子様遊びに来てくれました。

